

第 1 回 館山市議会定例会会議録

(第 4 号)

1 平成7年3月13日（月曜日）午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 24名

1番 秋山 光章	2番 増田 基彦
4番 斉藤 実	5番 宮沢 治海
6番 植木 馨	7番 鈴木 順子
8番 永井 龍平	9番 脇田 安保
10番 庄司二三男	11番 山崎 雅己
12番 岩村 勝弘	13番 榎本 春光
14番 小宮 利夫	15番 山中金治郎
17番 鈴木 忠夫	18番 日下 君敏
19番 川名 正二	20番 生稻 隆
21番 神田 守隆	22番 福原 勤
23番 石井 昌治	26番 辻田 実
27番 横溝 功	28番 飯田 義男

1 欠席議員 1名

3番 島田 保

1 出席説明員

市長 庄司 厚	助 役 小幡 清之
収入役 川上 義雄	市長公室長 永野 修
総務部長 神子 純一	民生部長 渡辺 富雄
経済部長 小沼 晃	建設部長 三平 孝司
水道課長 谷貝 実	教育委員会会長 高橋 博夫

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一	事務局長補佐 鈴木 哲
書記 四ノ宮 朗	書記 安田 仁一
書記 小山 真	書記 松浮 郁夏

1 議事日程（第4号）

平成7年3月13日午前10時開議

- 日程第1 {
- 議案第1号 平成7年度館山市一般会計予算
 - 議案第2号 平成7年度館山市国民健康保険特別会計予算
 - 議案第3号 平成7年度館山市老人保健特別会計予算
 - 議案第4号 平成7年度館山市ユースホステル特別会計予算
 - 議案第5号 平成7年度館山市学童災害共済事業特別会計予算
 - 議案第6号 平成7年度館山市下水道事業特別会計予算
 - 議案第7号 平成7年度館山市水道事業特別会計予算
 - 議案第8号 平成7年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

開 議 午前10時05分

◎議長（辻田 実君） 本日の出席議員数24名、これより第1回市議会定例会第4日目の会議を開きます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

議案の上程

◎議長（辻田 実君） 日程第1、議案第1号乃至議案第8号、平成7年度一般会計及び各特別会計予算を一括して議題といたします。

質疑応答

◎議長（辻田 実君） これより質疑を行います。

通告がありますので、発言を許します。

なお、発言の際はページ数をお示しくくださるようお願いいたします。

21番議員神田守隆さん。御登壇願います。

（21番議員神田守隆君登壇）

◎21番（神田守隆君） 既に通告をいたしました諸点についてお尋ねをいたします。私の質問は、この予算の事項別明細書によって行っていきたいと思います。

まず、55ページをお開きいただきたいと思います。総務費、企画費の中に

委託料としてコミュニティセンター用地利用詳細設計委託料が計上されております。この予算説明書の11ページをお開きいただきたいと思います。県立南地域文化ホールとその西側用地の一体性確保など、効果的な利用を図るための詳細設計を予定しているとのことでもあります。ここで言う文化ホールとの一体性確保など、効果的な利用とは具体的に何を言っているのか、御説明をいただきたいと思いますのであります。

次に、昨年12月市議会でこの地域の排水先になる境川の溢水問題について質問をしたところでありますが、文化ホールとその西側用地、さらに国道410号バイパスなどの開発に伴う雨水排水の対策は極めて重要なことと思うのでありますが、これについてはどのように検討されるのか、御説明を求めます。

次に、56ページであります。防災対策費として5,382万5,000円が計上されておりますが、これに関してお尋ねをいたします。施政方針の中でも触れられていることではあります。今年度予算編成の中でも、阪神大震災という戦後最大の災害を目の当たりにし、急速な地域防災計画の見直しが行われるということであり、防災対策費も前年度2,369万円余から今年度5,382万円余と倍増をし、市としても応急対策に係る予算が組まれたところであります。既に一般質問において家屋倒壊予防のための耐震診断、耐震補強の重要性についてお尋ねしたところでありますが、この問題の重要性と緊急性ということから、さらに具体的な問題について、あえて市の姿勢をお尋ねしようとするものであります。

まず第1点は、館山市は関東大震災で市内の住居の多くが全壊するという未曾有の大被害を経験いたしました。特に、北条、館野、那古などでは建物の全壊率は9割を超えているというすさまじさであります。しかしながら、関東大震災から既に72年を経過し、その記憶も忘れられがちであります。災害は忘れたころにやってくると言います。この関東大震災の経験を館山市民は忘れてはならないというのが震災対策を考える場合の重要なキーポイントではないかと思うのであります。昭和55年、56年の2カ年事業として、市は関東大震災級の地震が再び襲ったときの被害の想定を具体的に行っておりま

す。木造家屋の44%が全壊すると見られる 600ガルの地表加速度が想定される地域を具体的に示しておりますが、こうした図面は市民だれでもよくわかるようにしておく必要があると思うのであります。この報告書の中でも、余りにもすさまじい被害想定なので、行政はこうした結果を広く市民に公表することをはばかる気風があるが、むしろ市民に積極的にこれを公表し、対策を進めていくということが望まれるとされているわけであります。被害想定についてのこれらの結果をできるだけ市民にわかりやすい形で公表していくことが、市と市民が適切な防災対策を進めるその条件になるのではないかと考えるのでありますが、いかがお考えでありましょうか。

次に、44%の全壊率ということは、半壊を含めた損傷率では実際はほとんどの家で何らかの被害を受けるということであり、そのもとで全壊家屋が半分近くになるということであります。これはパニックを引き起こすに十分な数字だとされております。火災等の2次的な災害への発展も危惧されるところであります。私は、各地区ごとに全壊が危惧される危険家屋を10%以下にするなど一定の目標を設定し、年次的な計画も含めて対策を進めることが極めて有効な防災対策になるのではないかと思います。この44%全壊の想定は昭和55年、56年ごろの想定であります。既に15年が経過しておりますので、状況は変わってきているものと思います。さきの質問の御答弁では、昭和45年以前の建築が1万 5,000ほどあるということでしたから、これらについて地区ごとに分布状況を調査し、また建築年代について、昭和45年以前と一くくりにするのではなく、100%全壊が予想されている昭和25年以前のものはそのうちどのくらいあるのか、耐震的な構造にすることが義務づけられております住宅金融公庫の融資を受けたものはどのくらいそのうちあるのかなど、具体的に調査すれば、かなり正確に各地区ごとの予想全壊率が算出されると思うのであります。これらをもとに、各地区ごとの全壊率の軽減目標を設定していくことができると思うのであります。地震に強いまちづくりというのは、そういうことを住民とともにやっていくことだと思うのです。いかがお考えでありましょうか。

次に、耐震的な構造の家屋の比率を高めることが震災予防のポイントであ

りますが、そのためには、地震に強い家について非常に関心が高まっている時期なので、我が家の耐震自己点検のパンフレットなどを配布することまた必要なことと思うのでありますが、いかがお考えでしょうか。

次に、81ページです。お聞きいただきたいと思います。老人福祉費中、老人デイサービス運営委託料 1,441万 6,000円に関してお尋ねをいたします。デイサービスは、15人で週2回のサービスという当初の予想に対し、実際は60人もの申し込みがあり、このため、本来ならば週2回のサービスをすべきなのに、実際は個々の人に対しては月2回程度のサービスしかできないと聞いているわけであります。本来の週2回のサービスに近づけるためにどのような検討をされておるのか。特別養護老人ホームの割り当て日が館山市は週2回ということですが、この回数をふやすことを含め検討されておるのかどうか、お聞かせをいただきたいと思います。

この老人福祉費に関連してお尋ねをいたします。生活援護型の老人食事宅配事業について、既に鋸南町が実施し、近隣では白浜町も実施に踏み切りました。昨年9月市議会で実施を早期に検討すべきと求めた私の質問に対し、市長は調理、配食の体制などを理由に挙げ、早急な実施は困難とされておりました。しかし、市は館山市老人保健福祉計画の中でその実施について触れていますし、現実には近隣の町が次々に実施に踏み出している現況であります。平成11年度までには新ゴールドプランの中で全国的に実施ということまで言われておりました。一体何が問題なのでありましようか。この問題について、ゴールドプランの見直しの中でどのように位置づけていくお考えなのか、お聞かせをいただきたいと思います。

次に、127ページをお聞きいただきたいと思います。土木費であります、都市下水路費2億 4,015万 2,000円に関してお尋ねをいたします。説明書の17ページをお聞きいただきたいと思います。那古の下水路詳細設計委託料があるわけですが、まずこの詳細設計について、那古下水路のどこの部分をどこまでを対象として行うものなのか、御説明をいただきたいと思います。

次に、これに関連してお尋ねするわけですが、那古の閼伽井下の排

水路は、ＪＲ線路の部分で断面不足となっているため、雨水排水がこの部分で滞ることになり、周辺で溢水を繰り返しているわけであります。この関ヶ井下排水路の改修が必要なことではないかと思うのでありますが、市ではどのように考えておられるのか、あわせてお尋ねをいたします。

以上、御答弁によりまして再質問をさせていただきます。

◎議長（辻田 実君） 庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） ただいまの神田議員の御質問にお答えいたします。

議案第１号平成７年度館山市一般会計予算に関します総務費についての第１点目、コミュニティセンター用地利用計画策定事業についての御質問でございますが、コミュニティセンター西側用地につきましては、県立南地域文化ホール（仮称）との一体性を確保し、駐車場等として有効に利用してまいりたいと考えております。

また、境川溢水対策につきましては、現在進めております土地利用計画を策定する中で、調整池の設置を検討しているところでございます。

次に、第２点目、防災対策事業についての震災対策基礎調査の結果を公表すべきではないかとの御質問でございますが、昭和５７年に木造建物の倒壊率と火災による被害状況を一部公表し、全戸に配布したところでございます。

次に、行政として耐震予防対策の目標を定めるべきと思うがどうかとの御質問でございますが、目標設定が可能かどうか、検討課題と考えております。

次に、耐震診断の指導についてどのように考えているかとの御質問でございますが、国、県の指導を受けながら、建築物の自己診断と補強の知識の普及を図ってまいりたいと考えております。

次に、民生費に関します１点目、老人デイサービス運営委託料についての御質問でございますが、現在は月２回の利用状況でございます。今後老人保健福祉計画の施設整備計画に基づき検討してまいりたいと考えております。

次に、２点目、生活援護型の給食サービスについての御質問でございますが、調理や配食の体制などの問題がございますので、早急に実施することは難しいものと考えております。今後在宅福祉サービスとして、民間の活用や

配食システム等を検討してまいります。

次に、土木費に関します下水路についての御質問でございますが、那古下水路の詳細設計につきましては、那古水門から現在工事を実施しております辻地区内の接続点までの約 950メートルでございます。

また、関伽井下排水路の改良につきましては、JR千葉支社と協議しながら整備計画を策定し、実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 21番神田さん。

◎21番（神田守隆君） コミセンの西側用地については駐車場等ということとありますけれども、そこで1つは、いろいろ巷間で言われているところは、市役所の予定地ではないかというような話が今までいろいろされて——公式の場でのあれはないんですけども、そういううわさがずっと流れていましたけれども、そういう意味での考えは今度の中ではもう全くない、否定されるというふうに理解をしいいかどうか。

それから、境川の溢水に関して、今回その西側用地の関係で調整池ということとありますけれども、この調整池の規模については、西側の用地の駐車場の雨水並びに国道 410号バイパスの予想される雨水あるいは文化ホールの敷地内に降る雨水、そういったものの全部をトータルに考えた中での雨水対策という考え方になっているかどうか、その辺のお考えをお聞かせいただきたい。

それから、地震対策の問題でありますけれども、57年に配布したというのは、私もそれは承知しておりますけれども、一部であって、非常に不十分な点があるかと思えます。また、今のこの時期で、非常に住民の関心も高まっている時期でありますから、こうした時期にやるのは極めて効果的なことだろうと思えますので、あえて市民の関心を高めていくという点で——率直に言って、館山というのは物すごく地震に対して地盤の悪い土地だ。関東地震でこんなにひどい被害が出たのは小田原と——震源地に近かったわけですから——館山、こういうところが関東大震災の中で最も被害のひどかったところなわけです。そういう非常に悪い地盤にあるこの館山の持っている特徴と

いますか、こういうことをやはり住民の方に十分理解を求めていくことが大事な点だろうと思うのです。私自身が持ったこの印象では、館山のちょうど北条とか那古とか館山とか、あるいは館野、こうしたところは埋立地と変わらない、地盤が、そういうふうにしても言い過ぎでないような非常に軟弱地盤になっているわけで、したがって地震における被害はこういうところは物すごく集中するわけです。揺れによる倒壊ということが集中したというのが関東大震災での経験だったと思うのです。

そこで1つは、関東大震災における被害状況の写真、これは市でもパネルにして持っているかと思うんです。家屋が倒壊している状況、写真を見ますと、淡路島か神戸かと思うんですけれども、そうでもなくて、72年前の館山の姿だということで、啞然とするわけですが、こうした写真のパネルや、あるいは旧町村別における家屋の全壊状況を示した当時の調査結果、被害状況表ですね、あるいは56年に行われた地震対策基礎調査で示された地盤の図面、600ガルというような地表加速度が想定される地盤の図面、さらにまた家屋の耐震診断とその強化についてのどういうふうにするのかというような解説、そうした内容を踏まえた展示というものが――市役所なり、あるいはコミュニティセンターなり、そういうところで、市民の目に触れるところで、震災対策展というようなことで企画をつくって市民に周知していくということをやってはどうかと思うんですが、非常に今の時期にはタイムリーな内容で、住民も非常に興味を持っている問題だと思いますので、そういう点でぜひ御検討いただきたいと思いますと思うんですが、いかがでしょうか。

次に、老人福祉費の関係でありますけれども、施設整備をする中でデイサービスの今後の回数の充実ということを期していくという御答弁でしたけれども、老人保健福祉計画の中ではデイサービスセンターB型をもう1カ所つくる、さらにデイ介護事業所を3カ所つくる、こういう計画になっておりますので、この計画の施設をつくることについて、かなりもう現況の中でも――今の施設では本来の能力の4倍ぐらいの人が実際にはサービスを受けているという状態ですから、極めて急がないといけないんじゃないかなということで、この施設整備のことについてどういような段取りなりを考えてお

られるのか、今年度中にB型について具体的な検討をして、来年度あたりには建てたいというような意向を持っているのかどうか、そういうことについてお聞かせをいただきたいと思うんです。

それともう一点は、今のデイサービスの施設について非常に感謝されているんです。私も非常に喜ばれる。市民のそういう利用者からは本当にありがたいと。しかし、なかなか回数が少ないということで、現実には土曜、日曜が使われていないわけです、現在。そういう中で、入浴施設、お風呂に入れるということで、家族がその施設を使う、全責任を負うから、そういう施設を貸してもらえないかというような、そういう切実な声まで実は私も聞いてきました。それほど家族の声というのが——こういう方を抱えた方の切実な声ということで、そういう声に応えるように、早い時期に施設の整備をぜひお願いしたいということを重ねて指摘しておきたいと思うんです。

それから、次に土木費に関しての問題であります、那古の下水路は、第2期の5カ年計画——3年度から7年度の中では400メートル工事が終わるという段取りで当初の計画はされておったわけでありましてけれども、今年度末までで終了するのは何メートルになるのか。そして、7年度が5カ年計画の終わりですから、その当初計画から見ると、計画よりずれ込んでいる。達成率はかなり低いんじゃないかな、6割ぐらいという程度でしかないんじゃないかなと思うんですが、その辺についてどのような認識を持っておられるか。

それと、地元の大芝地区のことで何回もこれまで質問してまいりましたけれども、大芝の排水路について、この那古の下水路の接続部分、これが非常に問題があるんだということをこれまでも指摘したわけですが、この部分の改良というのでは、年次的に何年でそれが実施できるようになるのか、改めてお聞かせいただきたいと思います。

それから、次に関伽井下の排水路でありますけれども、ここはJRと協議しということでありますけれども、実際には具体的な協議は進んでいるのではないかなと思うんですが、年次的にどのようにお考えになっておるのか、その点についてあわせてお聞かせをいただきたいと思います。

◎議長（辻田 実君） 市長公室長。

◎市長公室長（永野 修君） コミュニティセンター用地に係る問題でございますけれども、御承知のように駐車場の関係 ― いわゆる文化ホール、コミュニティセンターの駐車場がございませんので、現時点の状況におきましては庁舎等は考えておりません。

それから、調整池の規模の問題でございますけれども、これは文化ホール、コミュニティセンター全体の ― 5万 1,746平米あるわけですが、それを踏まえた調整池を検討しているところでございます。

◎議長（辻田 実君） 民生部長。

◎民生部長（渡辺富雄君） 防災関係の御質問でございますけれども、1点目の地盤の悪い状況、そういった図面等の公表はできないかという御質問でございますけれども、今後、既に配布してあります防災ハンドブック、そういった見直しの中で公表できないかということで検討してまいりたいと考えております。

それから、パネルの展示等を企画したらどうかという御質問でございますけれども、毎年秋の健康まつり、そういった機会をとらえまして、防災の展示コーナー、これを設けて公開を行っているわけでございますけれども、今後別な機会に企画できないかということで、それを含めて今後検討してまいりたいというふうに考えております。

それから、デイサービスの施設整備、この施設の整備関係につきましては、今後老人保健福祉計画に基づきまして、安房郡市の関係市町村と協議してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

◎議長（辻田 実君） 建設部長。

◎建設部長（三平孝司君） 那古の排水路の関係なんです、通常排水路といいますと下流から工事をやってくるわけなんです、上流側でやはり道路と一体として使用したいという地元要望が強いために、2カ年でやってきたんですが、約 250メートルしてございます。

それと、大芝排水路の関係でございますが、平成7年度に詳細設計をするわけですが、地域排水路整備事業ということで、県の助成を得て下流側から

実施をしてまいりたいと予定しておりますので、時期等につきましては、県の予算の配分、そういうもので時期が変更になるかと思いますが、早期に完成をしていきたいというふうに考えております。

もう一点の関ヶ井下排水路でございますが、これも現在JRと基本協議をこれから進めようというふうに思っております。そういう中で、平成8年度には基本計画を実施していきたいというふうに考えております。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 21番神田さん。

◎21番（神田守隆君） 境川の問題で、文化ホールと駐車場の両方を考えた雨水対策ということで、そうすると、ここには410号バイパスにかかわる道路雨水の問題が——結構面積的にも大きなものを持ちますので、これについては今回は入っていないというふうになりますと、やはり境川の今の排水の許容能力からすると、非常に問題になろうかと思うんです。したがって、その点についてどうなっているか。

それから、伝え聞くところによりますと、来年度県は、この境川の流域調査を含めて、境川の改修についての調査をする予定だというふうに聞いておりますけれども、市ではその辺はどのように県の予算の状況について承知をしておるのか、お聞かせをいただきたいと思います。

それと、土木費に関してでありますけれども、3カ年の事業予定の予定表で、ローリングのあれで見えていきますと、一応那古の下水路についてはボックスカルバートということで予定されているようでありますけれども、詳細設計をされる中で、基本的に芝崎と大芝の境の部分などは道路沿いにこの那古下水路があるというふうになっておるわけで、そうすると、これは道路との一体的な利用ということで考えているんだというふうに理解をしていいかどうかということです。

それと、先ほどの御答弁では、250メートルですか、那古の下水路が終わるのは。そうすると、400メートルを7年度までにという目標に対してはかなりおくられているという、こういう認識に立っているということかどうか。あと一年、新年度で全部、150メートルはとてもできないと思いますので、

その辺はどういう認識を持っておられるかということです。

以上です。

◎議長（辻田 実君） 建設部長。

◎建設部長（三平孝司君） コミュニティセンターの排水でございますが、流域といたしましては、コミュニティセンター敷地全体と、国道 410号を含めて、高架部分を含めてございます。

それともう一点、境川の県の予算の配分の関係でございますが、話は聞いてございますが、正式なものはまだ来てございません。

それから、那古排水路の目標に達していないがどうかということなんですが、当初下流側から整備を考えて、開渠で考えておりまして、先ほど申し上げましたように、上流側の一体利用というようなことがありましたんで、金額ベースでは近づいてございますが、延長的にはそこまでいっていないという状況でございます。

それともう一点、構造についてでございますが、やはり現在の国道 127号から下流側にあります道路と並行してございますものについては、今後詳細設計をしていく中でボックスカルバート等を計画をいたし、一体に利用していきたいということで、今後詳細設計を進めていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

◎議長（辻田 実君） 以上で21番議員神田守隆さんの質疑を終わります。

以上で通告者による質疑を終わりますが、通告をしない議員で御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任

◎議長（辻田 実君） お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第1号乃至議案第8号、平成7年度各会計予算につきましては、10人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思います。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

重ねてお諮りいたします。ただいま設置されました予算審査特別委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、

2番議員 増田 基彦さん

3番議員 島田 保さん

5番議員 宮沢 治海さん

6番議員 植木 馨さん

9番議員 脇田 安保さん

11番議員 山崎 雅己さん

13番議員 榎本 春光さん

15番議員 山中金治郎さん

19番議員 川名 正二さん

28番議員 飯田 義男さん

以上10名を指名いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、決定いたしました。

ただいま選任されました委員の方々は、後ほどこの議場において正副委員長の互選を行いますので、御了承を願います。

延 会 午前10時43分

◎議長(辻田 実君) お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会したいと思います。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(辻田 実君) 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明14日から21日まで委員会審査のため休会、次会は3月22日午前10時開会とし、その議事は議案第1号乃至議案第8号、議案第10号乃至議案第32号等に係る各委員会における審査の経過及び結果の報告、討論、採決並びに追加議案の審議といたします。

この際申し上げます。各議案等に対する討論通告の締め切りは3月22日午前9時でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

1 議案第1号乃至議案第8号

1 予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任